

令和5年度第1回刈谷市都市計画審議会 議事録

1 開催日時

令和5年7月6日（木）午後1時30分～午後2時00分

刈谷市社会教育センター 401研修室

2 出席委員

瀬口哲夫（会長）、加藤英樹、早川孝二、鈴木勝之、中嶋祥元、佐原充恭、揚張慎一、近藤澄男、伊藤幸弘、新海真規、清永芳弘、竹内久敬、深谷康生、鈴木三千子

3 欠席委員

永田憲正、細井真司、神谷昌宏、磯部友彦

4 市関係職員

建設部長、都市政策部長、都市公園部長、まちづくり推進課長、都市交通課長、公園整備課長、市街地整備課長、担当職員9名

5 傍聴者

なし

6 議題

議案第1号 西三河都市計画道路の変更（刈谷市決定）

議案第2号 西三河都市計画公園の変更（刈谷市決定）

7 会議内容

開会

新任委員紹介

会長挨拶

議事録の公表について

- ・刈谷市附属機関等の会議の公開に関する指針に基づき、刈谷市ホームページにおいて一般公開

審議会成立条件の報告と今審議会の出席状況の報告

- ・18名の委員のうち、14名が出席

- ・刈谷市都市計画審議会条例第7条第3項に基づき「委員の半数以上」の出席であるため、審議会は成立

会議録署名者の指名

- ・会議録署名者 鈴木三千子委員

議案審議

(1) 議案第1号 西三河都市計画道路の変更（刈谷市決定）

議長（瀬口会長）が議案についての説明を求める。事務局（都市交通課）が提出した資料に基づき、都市交通課長より説明、以下のとおり質疑が行われた。

- 新海委員 この道路計画の変更については、既に、市議会における建設委員会の所管事務調査で審議された案件ですので問題ないと思っております。一つお尋ねするとすれば、刈谷市駅前の交番の移転先は決定しているのでしょうか。地元の関心が高いと思われますので、お答えできる範囲で結構ですので教えていただきたいと思っております。
- 豊永都市交通課長 交番の移転につきましては、委員がおっしゃるように、地元の方の非常に高い関心事項であることは承知しております。現在、警察と移転先について協議中であり、まだ決定していない状況です。
- 新海委員 分かりました。私のところには、可能であれば市駅前のロータリーに面したあたりに交番を設置していただけるのが、地元の方が安心していただけるのではないかという声が届いております。無理にとは申しませんが、これらの声を念頭に検討していただきたいと思っております。
- 瀬口会長 交番が市駅前から無くならず、移転先を検討していること、また、移転先は、市駅前のロータリーに面するところで検討してほしいというご意見でした。他にご意見はあるでしょうか。
- 伊藤委員 先ほど、都市交通課長の説明の中で、以前、市から示された、まちなかマネジメント構想に触れられた部分がありましたがこの道路計画の変更は、まちなかマネジメント構想の実現に向けた広小路A地区の再開発事業に伴うものだと思っております。今の段階ではなかなか見えないと思っておりますが、市駅前の将来的な構想、広小路A地区以外の動きが分かるようでしたら、教えていただきたい。

各務市街地整備課長 広小路A地区以外ですと、B地区C地区D地区の3地区で再開発を検討しております。まだ報告できる段階ではないですが、各地区と協議調整しながら着実に進めております。

伊藤委員 分かりました。現在、調整中ということですね。引き続き、将来構想を実現できるよう、継続的な調整をお願いしたいと思います。

瀬口会長 今のご質問は、再開発事業の進捗具合の確認だったと思われれます。あともう一つ、駅前道路の中町線や下屋敷線の道路整備の進捗はどうかということもあったと思うのですが、その点についてはどうでしょうか。

豊永都市交通課長 駅前広場につきましては、先ほどもご説明をさせていただきました通過交通と駅を利用される交通が交錯するという点を懸念しています。現在、安全面と利便性を高めるため、計画内容を精査しているところでございます。合わせて、愛知県、警察との協議を進め、安全な道路形状等について検討を進めてまいります。

瀬口会長 私から一つ。刈谷市駅は、名鉄を利用する刈谷北高と刈谷高校の学生が乗降する駅ということもありますし、亀城公園の入口になるわけですので、まちづくりを進めていく上で、歴史的なものを大切にさせていただくとともに、若い高校生が刈谷で勉強して巣立っていくわけですので、高校生の思い出になるような駅前にしてほしいと思います。何かのアンケートにありましたが、刈谷市駅前のトイレが臭くて嫌だという意見を目にしたことがあります。刈谷はトイレが綺麗で美しいというのが有名ですので、名鉄へのお願いになるかもしれませんが、刈谷市駅前のトイレはぜひ綺麗にさせていただき、良い思い出になるよう動いてほしいと思います。よろしく申し上げます。

議長が質疑の終結を宣言した後、採決を行い、全会一致で原案通り可決された。

(2) 議案第2号 西三河都市計画公園の変更（刈谷市決定）

議長（瀬口会長）が議案についての説明を求める。事務局（公園整備課）が提出した資料に基づき、公園整備課長より説明、以下のとおり質疑が行われた。

新海委員 一点伺います。説明の中で、計画地内に三豊稲荷という神社があるようなご説明でした。この三豊稲荷は移設する計画があるのでしょうか

- か。それとも、公園の中にそのまま残すのでしょうか。図面からは、そのまま残すようには見えなかったもので、質問させていただきます。
- 小川公園整備課長 三豊稲荷ですが、既に地元の方の手で移設されております。よって、計画予定地は、更地の状態になっております。
- 瀬口会長 参考資料では、公園や緑地が不足している地域が、現在12箇所ありますが、この公園が整備されることで11箇所になるということですね。こうしてみると、南部と北部に多いことが分かります。
- 新海委員 議長の発言を受けましてご質問です。公園が不足しているという地域はどのような基準で表しているのでしょうか。
- 小川公園整備課長 身近な公園である街区公園の誘致距離、半径250m円を記載して、空白になる部分を不足する地域として掲載しております。
- 瀬口会長 都市計画の中に、近隣住区理論という考え方があります。それは、学校を中心にして、大体1キロぐらいの大きさの中に、近隣公園と街区公園を4か所作るという国のモデルがあり、それに従うと、公園整備課長さんが説明されたように、誘致距離、つまり自分の家から250mのところ、街区公園というのが1ヶ所ずつある。近隣公園はその地区の中に一つあり、そうすると一番遠いところからでも500mぐらいで行けるわけです。そういうモデルがあって、そのモデルの数値、近隣住区理論のモデルで具体的な公園の誘致距離が250mで円を描いたのがこの図になります。この図を説明すれば、白い部分が住宅で、そこに、都市公園等の誘致園が重なっていない部分が、250m以内に公園が無い地域になりマーキングをしてあるという説明で、このようなどころから解消していくということになると思います。
- 新海委員 公園や緑地が不足している地域が、残り11箇所ありますが、刈谷市として全て整備していく方針なのでしょうか。刈谷市は公園の面積、市民1人当たりの面積が非常に高く、公園の設置率が高いと言われている現状の中で、今後、残り11箇所の地区をどうしていくのか方針を伺いたい。
- 小川公園整備課長 今後の整備の方針につきましては、この11箇所の地域を候補地としながら、地元の皆様のご協力が得られるのかどうか等を考慮しつつ総合的に判断していきたいと考えております。

議長が質疑の終結を宣言した後、採決を行い、全会一致で原案通り可決された。

その他

事務局より、次回、第2回は令和5年11月8日水曜日午後1時30分から同会場にて開催することを伝え、令和5年度第1回刈谷市計画審議会を閉会した。